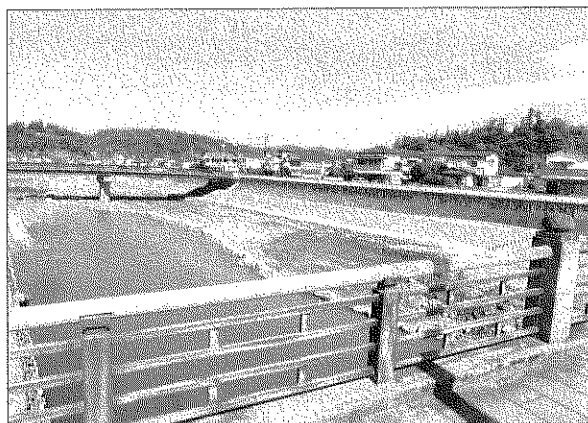


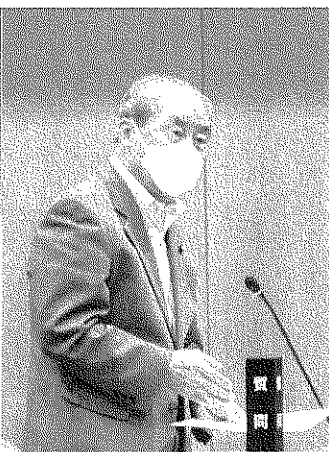
交通量の調査結果は来年7月

9月議会で大谷市議は、花月川の河川改修の進捗に伴う課題として、用地取得の進捗状況、橋の架け替えに伴う交通量調査と豆田町への影響、渡里川の橋の掛替などについて質問しました。



一新橋から御幸橋、丸山町をみる

地元説明会では、今年工事に着手となっていました。大谷市議は「どうなっているのか」の質問に、土木建築部長は「現在用地取得は39%、まとまった用地が取得できていないので、何時から工事にはいれるという話はない」と答弁しました。



国は河川改修に伴い、一新橋と御幸橋の架け替えを交互に行い仮橋はかけないと説明していました。大谷市議は「交通量の調査はどうなっているか。また豆田など地域の影響についてどう考えているか」を質問。部長は「国は今月中に着手し、来年7月までには完成させたいとのこと」と述べました。また部長は「我々としては仮橋をかけないのとはどうかなど思っているので、影響の有無について今後検討していく中で国にしっかりと確認していきたい」と述べました。

市道の道路単独部分(吹上交差点から児童発達支援センタービート付近)の設計が今年度計画されていましたがどうなっているのか質問。部長は「説明会のスケジュールでは橋の設計を予定していたが、用地協議を優先しているため設計に着手していない」と答弁。大谷市議は「渡里川に架かる橋を架け替えると迂回路が必要になる。ところが迂回路は道が狭く交差点はなく手押しポタン式で課題がある」と指摘し、対応について検討を求めました。

河川改修計画と2つの橋の掛替

国に意見書提出の請願は多数で不採択

9月議会最終本会議で「安倍元首相の国葬撤回を求める意見書の提出を求める請願」が多数で不採択となりました。大谷市議は請願に賛成する立場で討論しました。

請願は社会民主主義フォーラム「ひた」(高瀬剛代表)から提出されていました。趣旨は主に「①国葬を行なう法的根拠がないこと②公的機関でも民間機関でも有形無形と同調圧力がかけられること③憲法14条の法の下の平等」に反する②首相は「弔

採択となりました。

大谷市議は意見書の提出に賛成の立場で討論。要点は①国会閉会中審査でも岸田首相は国葬を行なう合理的理由を示せず、特定の個人を特別扱いはることは憲法14条の「法の下での平等」に反する②首相は「弔

大谷市議は意見書の提出に賛成の立場で討論。要点は①国会閉会中審査でも岸田首相は国葬を行なう合理的理由を示せず、特定の個人を特別扱いはることは憲法14条の「法の下での平等」に反する②首相は「弔

意を国全体として表す儀式」と述べましたが憲法19条の「内心の自由」の侵害に当たる③安倍政治は安保法制の強行など立憲主義の破壊や「森友・加計」桜を見る会など国政私物化が行なわれた④カルト団体の旧統一協会との関係でも深い癒着関係にあり、国葬は統一教会の広告塔となった安倍氏の行為を国として免罪することになると指摘し請願に賛成しました。

大谷市議 国葬反対の請願に賛成討論

19条との関係で好ましくない」と述べています。採決の結果、賛成8人、反対13人で不

会派名	議員名	賛否
共産党	大谷敏彰	○
	日隈知重	○
市政クラブ	財津幹雄	×
	岩見泉哉	×
	安達明成	×
	梅原竜也	○
	佐藤功	×
	原田裕文	×
	宮崎陽治	×
市民クラブ	溝口千壽	○
	井上正一郎	○
	梶原信幸	○
	中島章二	○
新世ひた	飯田茂男	×
	石橋邦彦	—
	居川太城	×
公明党	三苦誠	×
	松野勝美	×
無所属	坂本茂	×
	坂本盛男	×
無所属	中野哲朗	×
無所属	高倉貴子	○

注) ○は賛成、×は反対、石橋議長は採決に加わらないため一印、敬称略